

今日のトピック 世界の「投信マネー」(2018年3月)

2018年2月は株式ファンドの流入超額が大幅縮小

株式ファンドはアジアへの流入が続く

- 2月の株式ファンドは、株式市場が大きく調整したことから、流入超過額が前月の1,072億ドルから62億ドルへと大幅に縮小しました。内訳は新興国全体が108億ドルの流入、先進国全体が46億ドルの流出でした。また、先進国、新興国共にアジアの流入超過が続きました。
- 先進国が流出超に転じたのは、先進国全般に投資する「グローバル」が126億ドル、「アジア^(注3)」が109億ドルの流入超となったものの、「北米」が330億ドルの流出超となったことが主な要因です。一方、新興国は「GEM^(注4)」が68億ドル、「EMアジア^(注5)」が31億ドルと流入超過が継続しました。

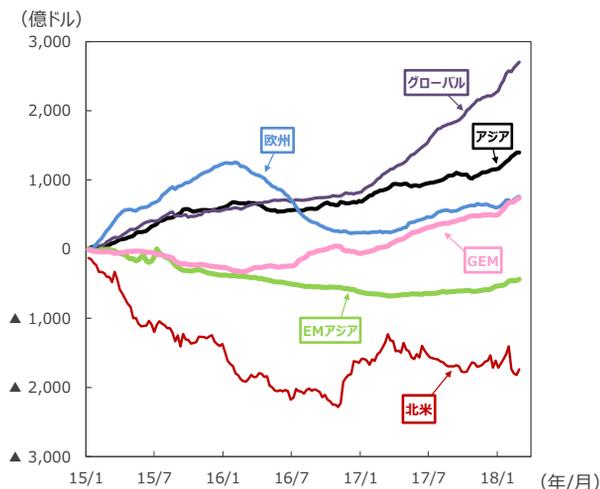
債券ファンドは流出超

- 2月の債券ファンドは26億ドルの流出超に転じました（前月は284億ドルの流入超）。先進国では「北米」が▲12億ドルと2カ月ぶりに流出超に転じました。一方、新興国は6億ドルとわずかながらも流入超でした（前月は99億ドルの流入超）。「GEM」が流入超（10億ドル、前月103億ドル）を維持したことが要因です。

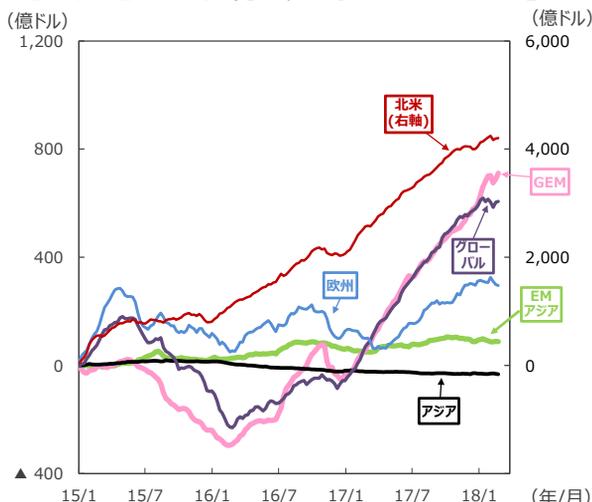
大幅流出超は2月1週、2週のみ。その後安定

- 2月は米国の長期金利上昇をきっかけに、世界の株式市場が大きく調整しました。資金フローを見ると、株式ファンドは第1週に306億ドルの流出超となり、債券ファンドは第2週に141億ドルの流出超となりましたが、その後はいずれも流入に転じています。新興国からの資金流出も懸念されましたが、現在までのところ資金流入が続いています。2月の株式市場を中心とする金融市場の調整は、ファンド全体から資金を流出させるには至っていないようです。

【主要地域別株式ファンドの資金フロー】



【主要地域別債券ファンドの資金フロー】



- (注1) EPFRグローバル：米国に本社を置く金融商品の調査会社。2018年1月末現在31.0兆ドル規模の世界のファンドの資金フローデータを持つ。
 (注2) データは2015年1月～2018年2月。週次ベース。2015年1月からの累計。
 (注3) 「アジア」は日本、豪州、ニュージーランド、香港、シンガポール。
 (注4) 「GEM」はGlobal Emerging Markets (世界の新興国市場全体に投資するファンドの総称)。
 (注5) 「EMアジア (新興アジア)」は中国、インド、韓国、台湾、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム、パキスタン、バングラデシュ。
 (出所) EPFRグローバルのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここも
チェック!

2018年2月21日 最近の米国経済と長期金利の見通し (2018年2月)
 2018年2月20日 日本株式市場の見通し

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。